

炊飯中・再加熱中・調理中・自動洗浄中及び直後しばらくは蒸気排出口や圧力調整弁に顔や手を近づけないでください。

(やけどの原因となります)

特にお子様や乳幼児には充分ご注意ください。

- 炊飯中に取消ボタンを押した場合や停電時には、急に蒸気を排出する場合がありますのでご注意ください。



**本体は次のことをしないでください。
(火災・やけど・けが・感電の原因となります)**

- 絶対に分解・改造・修理は行わないでください。

修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

- 取扱説明書に記載した用途以外には使用しないでください。

- 圧力調整弁及び蒸気排出口をふさがないでください。

(圧力により、中のものが吹き出しやけどの恐れがあります)

- 取扱いに不慣れな方だけで使用したり、お子様や乳幼児に触れさせたりしないでください。

- 本体を水洗いしたり、水につけたり、水をかけたり、内なべ無しで使用しないでください。

(水やお米などが入った場合はお買い上げの販売店にご相談ください)

- クリーンカバー (CLEAN COVER) の穴をふさぐおそれのある物は、内なべに入れないでください。

(蒸気や中のものが噴出しやけどをするおそれがあります)

※ポリ袋などに具材などを入れて加熱しないでください。

※アルミホイル、調理用ラップ、クッキングシートなどを落としふたの代わりに使用しないでください。

- 本体底の穴やすき間に異物を入れないでください。

(特にピンや針金などの金属製の物は感電やけがをする恐れがあります)



炊飯中・調理中は次のことをしないでください。

(やけど・けがの原因となります)

- 炊飯中・調理中は絶対にフックボタンを操作しないでください。

炊飯中・調理中は圧力により、ふたが開きません。無理に開けると中のものが吹き出し、やけどをする恐れがあります。

炊飯中・調理中にやむをえずふたを開ける時は ボタンを約2秒間押してください。蒸気排出口から蒸気が抜けたのを確認してから、圧力調整弁の上部を箸や棒のようなもので手前に傾けて内なべ内の圧力を完全に抜いてください。

- 炊飯中・調理中はロックレバーを絶対に操作しないでください。

無理に操作すると圧力により、中のものが吹き出し、やけどをする恐れがあります。炊飯または調理完了後、必ず蒸気が完全に抜けてからロックレバーを操作してください。



安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 注意

❌ 電源プラグやコードは、次のことはしないでください。

- コンセントに差した電源プラグやコードに蒸気を当てないでください

収納キャビネットなどでお使いの場合は棚を引き出した時に電源プラグやコードに蒸気が当たらない位置で炊飯器をお使いください。

❗ 電源プラグやコードは、次のことを守ってください。

(発火・感電の原因になります)

- コードを巻き取る時や電源プラグを抜く時は必ず電源プラグを持ってください。

(けがの原因にもなります)

- 使用時以外はコンセントから抜いてください。

けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。

❌ 炊飯中・再加熱中・調理中・自動洗浄中及び直後しばらくは高温部に触れないでください。

(やけどの原因になります)

ふたの内側にある部品・クリーンカバーや内なべ近くの金属部分には触れないでください。お手入れは、電源プラグを抜き本体内部が冷めてから行ってください。やむを得ず高温部に触れる際には、必ずミトンタイプの鍋つかみを使用してください。



❌ 次のことはしないでください。

- 水のかかる所や火気の近くで使わないでください。

(感電・漏電の原因になります)



- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わないでください。

(やけど・けが・火災の原因になります)

- 壁や家具の近くでは使わないでください。

(変色や変形の原因になります)

収納キャビネットなどでお使いの場合は棚を引き出して、天面に蒸気が当たらないようにしてお使いください。

- 専用の内なべ以外は絶対に使わないでください。(過熱によるやけどやけがの原因になります)

- 持ち運ぶ時は本体の下側を持ってください。

ふたを持って持ち運ぶとふたが開く恐れがあります。必ず本体の下側を両手で持って運んでください。

- 炊飯・調理完了後または保温時にロックレバーが回りにくい時は無理に動かさないでください。

(やけどや故障の原因になります)

圧力調整弁の上部を箸や棒のようなもので手前に傾けて内なべ内の圧力を完全に抜いてから開けてください。

❗ 炊飯・調理中は次のことを守ってください。

- 炊飯・調理完了前に、自動的に排出される蒸気に注意してください。

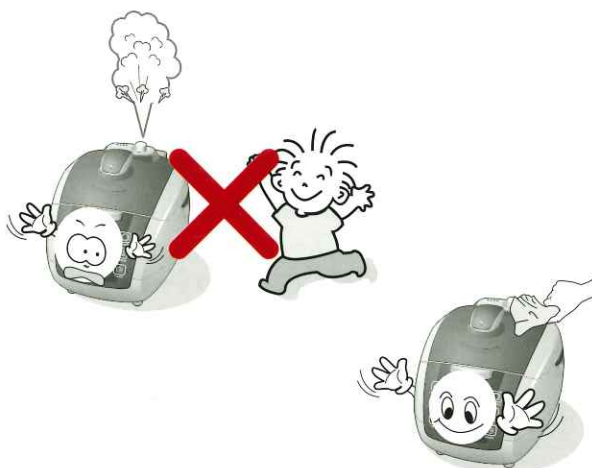
蒸気はいきおいよく「シュー」という音を出して排出されます。必ず、乳幼児やお子様の手の届かないところでお使いください。やけどの原因になります。

- 炊飯・調理中に停電しますと「蒸気排出口」から蒸気が噴き出すことがあります。

とくに乳幼児のお子様のいらっしゃるご家庭ではやけどに十分ご注意ください。

- 炊飯・料理が終わった後には、必ずお手入れをしてください。

ニオイの原因となります。P.40 ページの「お手入れのしかた」を参照にして内なべ、クリーンカバー、クリーンカバー用パッキン、内ふた、炊飯用パッキンなどをきれいに拭いてください。



⚠ 使用上のお願い

外ふたを無理に閉めないでください。故障の原因となります。

外ふたがスムーズに閉まらないときは次のことを確認してください。



“解除”の位置

- 1) 内なべが正しく入っているかを確認します。
- 2) 図のようにロックレバーが“解除”の位置になっていないと外ふたが閉まりません。

本体内部に蒸気が発生するものがあると、閉めたとたんに圧力がかかって外ふたが閉めにくくなります。その時は、圧力調整弁の上部を手前に傾けて外ふたを閉め、ロックレバーを“ロック”の位置に合わせてください。

- 収納キャビネットやスライド式テーブルに置く時は必ずテーブルの荷重強度を確認してください。
(落下する恐れがあります)
炊飯器にお米を入れると約7.5kgになります。

- 使用中は、蒸気排出口、圧力調整弁、本体上面を“ふきん”などでふさがなでください。
(蒸気がこもり、外ふたの変形や表示部が故障する原因になります)
- ご飯つぶなどの異物や汚れが付いたまま使わないでください。
(エラー表示が出たり、ご飯がこげたり、蒸気もれしてうまく炊けません)



- 外ふたの上に磁性があるものを置いたり、磁性の強いものの近くでは使わないでください。
(製品の故障や機能が正常に動作しないことがあります)

⚠ 内なべについてのお願い

- 炊飯器以外では使わないでください。
(ガス火、IHクッキングヒーター、電子レンジなどで使わないでください)
- かたいものに当てたりしないでください。
(外面に傷が付いたり変形したり、フッ素コーティングが欠ける原因になります)
- 内なべのフッ素コーティングの欠けや傷付きなどを防ぐために次のことをお守りください。

● 準備のとき

- 1) 内なべを使って玄米またはお米を洗ったり研いだりしないでください。(フッ素コーティングがはがれる場合があります)
- 2) 酵素玄米ご飯の仕込み、かくはんの時は“シリコン製”の泡立て器を使ってください。
- 3) 金属製のざるなどを当てないでください。

● 炊き上がったとき

- 1) 内なべで酢を混ぜないでください。(すしめしなど)
- 2) 金属製のおたまは使わないでください。(おかゆなど)
- 3) じゃもじなどで、たたいたりしないでください。(よそうときなど)

● お手入れのとき

- 1) 内なべはきれいに洗った後、ふきんで拭いてください。
- 2) 内なべはスポンジで洗ってください。金属たわし、ナイロンたわし、磨き粉で洗うとフッ素コーティングがはがれる場合があります。フッ素コーティングが傷付いたり、はがれたりするとご飯がこびり付く原因になります。
- 3) 洗いおけ代わりにつかわないでください。スプーンや食器類を入れたり、投げ込んだりしないでください。
- 4) 調味料を使った場合は内なべに調理物を入れたままにしないでください。炊き込みご飯などをしたときは、早めに内なべから取り出して洗ってください
- 5) 食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。
- 6) 洗った後に乾かすときに食器などの上に伏せたりしないでください

各部の名称



クリーンカバー用パッキン

クリーンカバー

内なべ

内なべを正しく入れてください。

ボトムセンサー

熱板

フックボタン

操作パネル

外ふた

炊飯用パッキン

内ふた

出荷時は内なべの下に保護紙が入っています。初めて使うときは、取り除いてください。

電源コード

電源プラグ

ロックレバー

炊飯・調理時にロックレバーを“ロック”の位置に合わせないと作動しません。

蒸気ふた

蒸気排出口

炊飯・調理完了及び保温のとき、自動的に蒸気を排出します。

急に蒸気がでる場合があります。ご注意ください。

圧力調整弁

内部の圧力を一定に調節します。傾けると蒸気が排出されます。



つゆ受けトレイ

付属品



取扱説明書



かんたん操作表



計量カップ
説明書内の1カップとは180cc(1合)のことです。



しゃもじ

操作部の名称と働き

① 酵素玄米炊飯 / 発芽 ボタン

玄米炊飯専用ボタンです。玄米ご飯や酵素玄米ご飯を自動で炊飯します。このボタンを2回押すと、発芽のみ行います。ボタンを押すごとに「酵素玄米」、「発芽」をくり返します。この「酵素玄米炊飯/発芽」ボタンで選択した後「炊飯スタート」ボタンを押すとスタートします。

② 炊飯スタート ボタン

炊飯 / 発芽 / 早炊き / 調理を④「メニュー」ボタンで選択した後、このボタンを押すことにより炊飯及び調理がスタートします。白米ふつうメニューのみ2回押すと早炊きがスタートします。



③ 自動洗浄 ボタン

このボタンを押すと炊飯器内部を洗浄します。

④ メニュー ボタン

このボタンを押すごとにより炊飯 / 調理メニューを選びます。

⑤ 取消 ボタン

このボタンを押すと選択したメニューや操作を取り消したり、自動的に内部圧力を抜く(蒸気を排出)ことができます。炊飯 / 調理中は2秒間押ししてください。メニューを選んでいない状態でこのボタンを押すと音声を消します。

⑥ 保温 / 再加熱 ボタン

保温機能のスタートと保温中からの再加熱をスタートします。

⑦ 時 設定ボタン

予約及び時計設定のときにこのボタンを押すと時間が1時間ずつ進みます。[午前][午後]にご注意ください。昼の12時→午後12:00、夜の12時→午前12:00 発芽のときは4h(4時間)、5h(5時間)、6h(6時間)となります。

⑧ 分 設定ボタン

予約及び時計設定のときにこのボタンを押すと時計の分が、00→01→...09→00と変わります。発芽のときは4h(4時間)、5h(5時間)、6h(6時間)となります。

⑨ 予約 ボタン

酵素玄米炊飯 / 炊飯 / 調理の予約設定ができます。⑦で時間を⑧で分を設定します。時間は炊き上がり時間となります。